

# 道標ない旅269

“269”とは南郷中の全校生徒数です

平成30年6月15日(第10号)

校長 益田 孝彦 875-9494

## ◆◆ 陸上競技湘南地区予選で、見事夏の県大会出場を決めた選手の皆さんを紹介します。 ◆◆

6月2日3日 湘南地区予選(不入斗陸上競技場)

1年 1500 m 6位入賞

共通 1500 m 3位入賞

共通 3000 m 7位入賞

共通 3000 m 5位入賞

1年 800 m 4位入賞

共通 4種 2位入賞(逗葉記録)

惜しくも敗退した選手もいましたが、夏に向けて一層練習に磨きがかかることを祈ります。

## ◆◆ 3年生が、原爆被災者の会の方々から、原爆被害のことを学びました。 ◆◆



講演会の冒頭、葉山支部会長の さんから、原爆について、「空白の10年間」があったことが紹介されました。情報が隠され、原爆についての無理解と治療を受けられないまま被爆者は過ごしたそうです。ビキニ環礁での水爆実験による第5福竜丸の被爆を通してやっと被爆被害が明らかになっていったことが伝えられました。

92才の さんは、自らの被爆経験、原子雲・黒い雨・被爆した人々の様子など、ご自身の目に焼き付いた当時の光景を生徒に話してくださいました。

2才の時、自宅で被爆した さんは、お母様書き残した被爆当時を回顧する手記を紹介してくださいました。救護所でやっと会えた傷だらけの長男が苦しみながら亡くなる話など、全てが実話なので、生徒の心に深く印象に残ったと思います。

講話していただいた3名の方全員が「平和」を考え、「平和を希求」している姿から、学ぶことの多い学習会だったと思います。『過去の苦しみは平和の中、忘却されることを恐れます。「核」がなくなることを願います。』というまとめのメッセージが印象に残りました。

平和学習の最後の場面に、3年生が群読を披露し、お話への御礼の気持ちを伝えました。私は出張の関係で、ビデオでこの学習会の様子を拝見したのですが、ビデオからでもその学習意

義がよく伝わってきたとても良い会だったと思います。

3年生は6/19～21の3日間修学旅行に行きます。南郷中は京都奈良にとどまらず、広島まで足を伸ばします。現地に行くことでさらに学習を深めて欲しいと願っています。

## ◆◆ 2学年もFGC活動に向け、準備を進めています。 ◆◆



6月20日に2学年が実施するFGC体験活動の事前打ち合いを、6月7日実施しました。都合のつかない団体さんもありましたが、6月20日の体験がより充実するよう、担当の方と参加する生徒が顔合わせし、打ち合わせました。持ち物服装の確認だけでなく、当日より良い体験につながるよう、事前学習に余念のないグループもありました。良い体験ができることを期待しています。

がるよう、事前学習に余念のないグループもありました。良い体験ができることを期待しています。

◆◆ 全校集会で、チョコッとサイエンスショーを交えてお話ししました。 ◆◆



6月の全校集会は、「より良い学校生活」を考えてもらう機会でした。私も10分間ほど校長の話をする事になっていましたので、科学現象を紹介しながらお話ししてみました。

今回は、生きていく上でのひと工夫や、留意点に気付いてもらえるといいなと考え、

「過冷却水」と「偏光板トンネル：無敵の壁」の二つを選んでみました。

まずは「過冷却水」。塩と氷でマイナス20度くらいに冷やした容器から、市販のミネラルウォーターを取り出します。本来なら凍っているはずですが、上手に冷やすと凍る機会を失って、マイナス7～8度くらいの水になります。グラスに注いでも水のままで、かき混ぜるなどの急なショックを与えると本来の氷に変わります。「凍りつく」という言葉は、心理的に辛い響きがあって、心を閉ざしたくなるような場面で使われます。グラスの中の水は確かに凍りましたが、液体が固体に変わるとき凝固熱という熱が出るので、できた氷はマイナス0度のグズグズの氷です。だからこそ自分が勇気を出して凍りついた心を温めれば、案外簡単に氷は溶けるものだよ。ぜひ、このことを心が凍りついたような場面で思い出して欲しいと伝えました。

また、偏光板トンネル（無敵の壁）については、「仲良し同士※の右側」その隣に、「仲良し同士の左側」があった時、右と左の境目に写真でも分かると思いますが、壁ができてしまうことがあるねと投げかけました。あまりに自分たちだけを大事に思うと、人間社会でもいつの間にか壁ができてしまうかもしれません。しかし、その様な壁は無いもののできる（存在しない）のだよと話をし、実際に壁など存在しないことを確認してもらいました。心が勝手につくってしまう壁は、なくすることができるはず。あまり自分たちの流儀に固執せず、相手のことを考えてあげる余裕が欲しいねと伝えて、校長の話としました。機会があれば他の科学ネタも披露してみようと思っています。

※偏光板シートは、同じ向きにすると光（偏光）を通すのですが、シートの向きを90度ずらして直交させてしまうと、全く光を通さないシートのことです。「仲良し」とは偏光シートの向きをそろえることを意味していて、右側と左側のシートの向きを90度ずらすと光を通さない壁が出現します。

◆◆ 校内研究会で、1学年の先生方の授業公開が続々行われています。 ◆◆

この6月は校内研究会の一環で、1学年担当の先生方の授業が次々と公開されています。ということで、5人の先生方の授業を拝見しました。一番感じたことは、どの方の授業を見ても、1学年が積極的に前向きに授業を受けているなという印象です。先生方との会話を楽しみながら授業に参加している様子が伝わってきました。先日定期試験を経験して、中学校文化の一端に触れた1学年ですが、結果によらず元気に過ごせているのではないかと思います。

さて、新学習指導要領では、生徒が「どのように学ぶか!!」の視点に立って、授業の指導方法や展開方法も変わっていくことが予想されます。南郷中も「主体的対話的で深い学び」となっていくような授業を探り出していかなければならないと思います。色々試行錯誤することと思いますが、保護者の皆様の理解のもと、生徒たちの期待に応えていければと考えています。

◆◆ 平成31年度神奈川県公立高等学校入学者選抜選考基準及び特色検査概要がHP掲載です ◆◆

ホームページアドレスは、以下の通りです。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/h31/h31kijun.html>

◆◆ 少林寺拳法の神奈川県大会において、見事 さんが優勝しました。 ◆◆

陸上部としても活躍している さんですが、県大会にて単独演武の部にて、昨年度の4位を超え、見事優勝を飾られました。全国大会に向け、一層の健闘を祈りたいと思います。

◆◆ 工事に関する話題を2件お伝えします。 ◆◆

学校入り口付近のスターボックスの工事は、3ヶ月工事開始がずれ込み工事は2学期になるそうです。また、その先数十mにある逗葉新道にかかる歩道橋が、車両の上部がぶつかる事故が絶えないので、付け替え工事が行われるそうです。夏場の混雑期、昼間時片側通行が3ヶ月続くそうです。葉山ステーションもあるので、道路状況がどうなるか少し心配しています。